

Denka

2015年度 決算説明会

2016年5月11日

1. 2015年度 決算概要

- ① 前年比(まとめ) P. 1
- ② 前年比(増減要因) P. 2
- ③ 前年比(セグメント別) P. 3

2. 2016年度 業績予想

- ① 前提条件等 P. 4
- ② 前年比 P. 5
- ③ 前年比(増減要因) P. 6
- ④ 前年比(セグメント別) P. 7
- ⑤ 四半期別予想(概算) P. 8

3. 経営計画「Denka100」 / 数値目標と新成長戦略

- 数値目標と新成長戦略 P. 9
- 健康関連事業 P.10

4. 株主還元方針及び成長に向けた投資財源 P.11・12

Denka 1. 2015年度決算概要 ①前年比(まとめ)

単位:億円

	実績	前年	増減	主な増減要因
売上高	3,699	3,840	▲ 141	エラストマー・機能樹脂 + 66 インフラ・ソーシャルソリューション ▲ 18 電子・先端プロダクツ ▲ 4 生活・環境プロダクツ + 23 その他・消去 ▲ 2
(海外売上高の割合)	(37.5%)	(36.3%)	(+ 1.2%)	
営業利益	306	240	+ 66	← + 66
(営業利益率)	(8.3%)	(6.3%)	(+ 2.0%)	為替差益 (+16 → ▲13)等 ▲ 39
経常利益	270	243	+ 27	← + 27
				前年資産売却益 (29 → 0)等 ▲ 22
純利益	195	190	+ 5	← + 5

Denka 1. 2015年度決算概要 ②前年比(増減要因)

単位:億円

売上高 3,699 (▲ 141)

- ① 数量差 : SMその他の販売数量増 (+ 21)
- ② 価格差 : 原料安に応じた石化系製品の売価改定 (▲ 163)

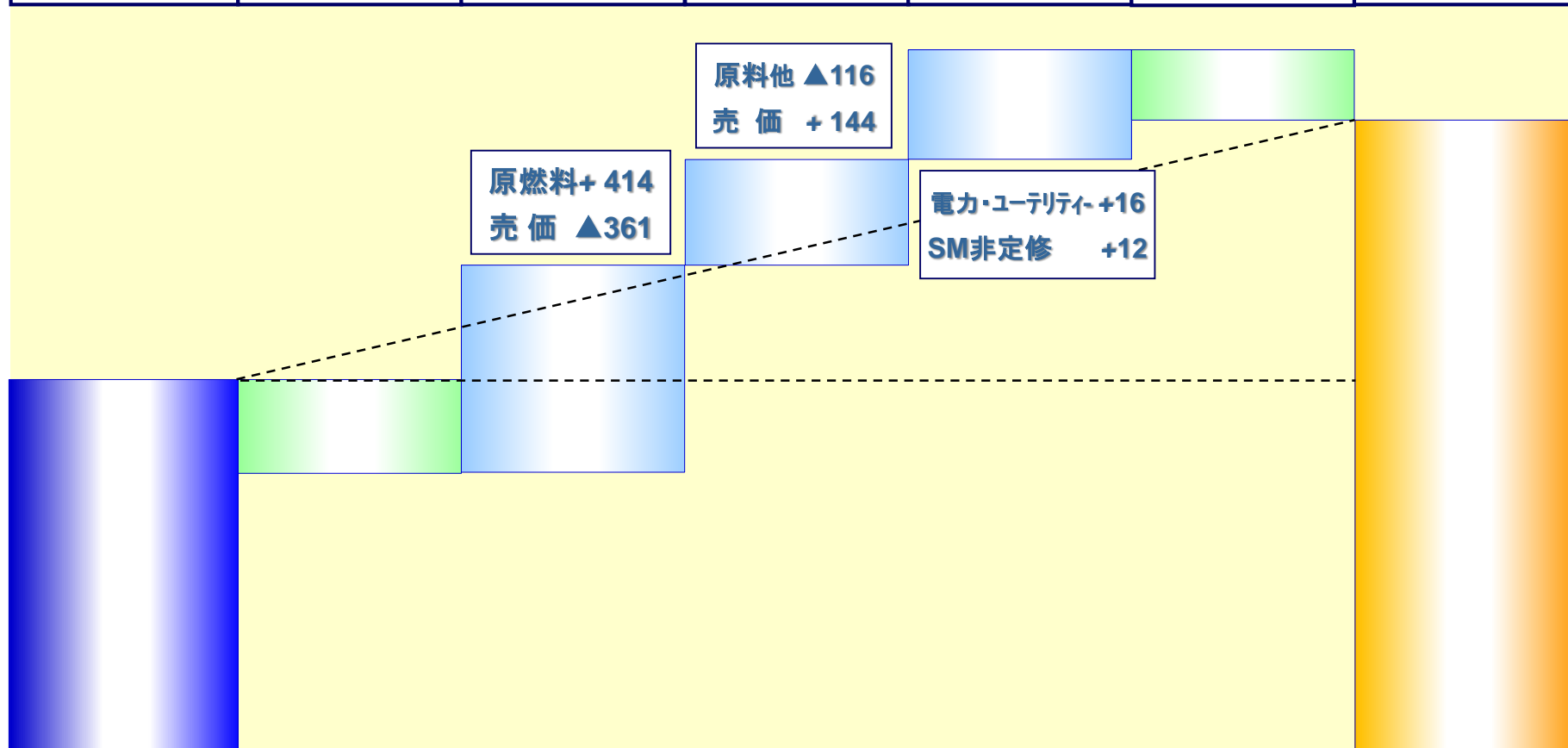
営業利益 306 (+ 66)

- ① 数量要因 : 内需製品・電材製品調整局面他 (▲ 24)
- ② スプレッド(拡大) : 原燃料 +414 > 売価 ▲361 (+ 53)
- ③ 為替影響(円安) : 原料他 ▲116 < 売価 +144 (+ 27)
- ④ コスト要因 : 電力・ユーティリティ負担減 (+ 16)
: SM非定修年 (+ 12)
- ⑤ 先行投資負担等 : 海外展開・研究開発他 (▲ 18)

Denka 1. 2015年度決算概要 ② 前年比(増減要因)

単位: 億円

2014年度	数量要因	スプレッド	為替影響	コスト要因	先行投資負担等	2015年度
240	▲ 24	+ 53	+ 27	+ 28	▲ 18	306



Denka 1. 2015年度決算概要 ③前年比(セグメント別)

単位:億円

売上高	実績	前年	増減
エラストマー・機能樹脂	1,556	1,663	▲107
インフラ・ソーシャルソリューション	491	478	13
電子・先端フロンタックツ	457	483	▲26
生活・環境フロンタックツ	794	802	▲8
その他	401	414	▲13
合計	3,699	3,840	▲141

販売価格差	数量差
▲182	75
3	10
3	▲30
13	▲21
-	▲13
▲163	21

営業利益	実績	前年	増減
エラストマー・機能樹脂	110	44	66
インフラ・ソーシャルソリューション	9	27	▲18
電子・先端フロンタックツ	61	64	▲4
生活・環境フロンタックツ	115	92	23
その他 / 消去差	12	14	▲2
合計	306	240	66

販売価格差	数量差	コスト差等
▲182	9	239
3	▲1	▲20
3	▲9	3
13	▲21	31
-	▲2	0
▲163	▲24	253

Denka 2. 2016年度業績予想 ①前提条件等

単位：億円

前提条件	2016年度	2015年度				2016年度 第2四半期 予想	2015年度 第2四半期 実績		
	為替レート [円/\$]	109.0	120.1				109.0	121.8	
国産ナフサ [円/Kg]	33,500	42,850				33,500	47,900		
参考数値	2016年度	2015年度	増減				2016年度 第2四半期 予想	2015年度 第2四半期 実績	増減
	投資	280	380	-100				100	164
設備投資	280	212	68				100	90	10
M & A 他		167	-167					74	-74
減価償却費	240	232	8				120	114	6
研究開発費	130	118	12				60	58	2
有利子負債残高	1,150	1,246	-96				1,200	1,322	-132

Denka 2. 2016年度業績予想 ② 前年比

単位：億円

	2016年度 予 想			2015年度 実 績		
	4~9月	10~3月		4~9月	10~3月	
売上高	3,750	1,750	2,000	3,699	1,826	1,872
営業利益	310	120	190	306	146	160
(営業利益率)	(8.3%)	(6.9%)	(9.7%)	(8.3%)	(8.0%)	(8.6%)
経常利益	280	100	180	270	135	135
当期純利益	205	70	135	195	99	96

Denka 2. 2016年度業績予想 ③ 前年比(増減要因)

単位: 億円

売上高 3,750 (+ 51)

- ① 数量差: 米国クロロプレン、その他販売増 (+ 351)
- ② 価格差: 原料安石化系製品の売価改定 (▲ 299)

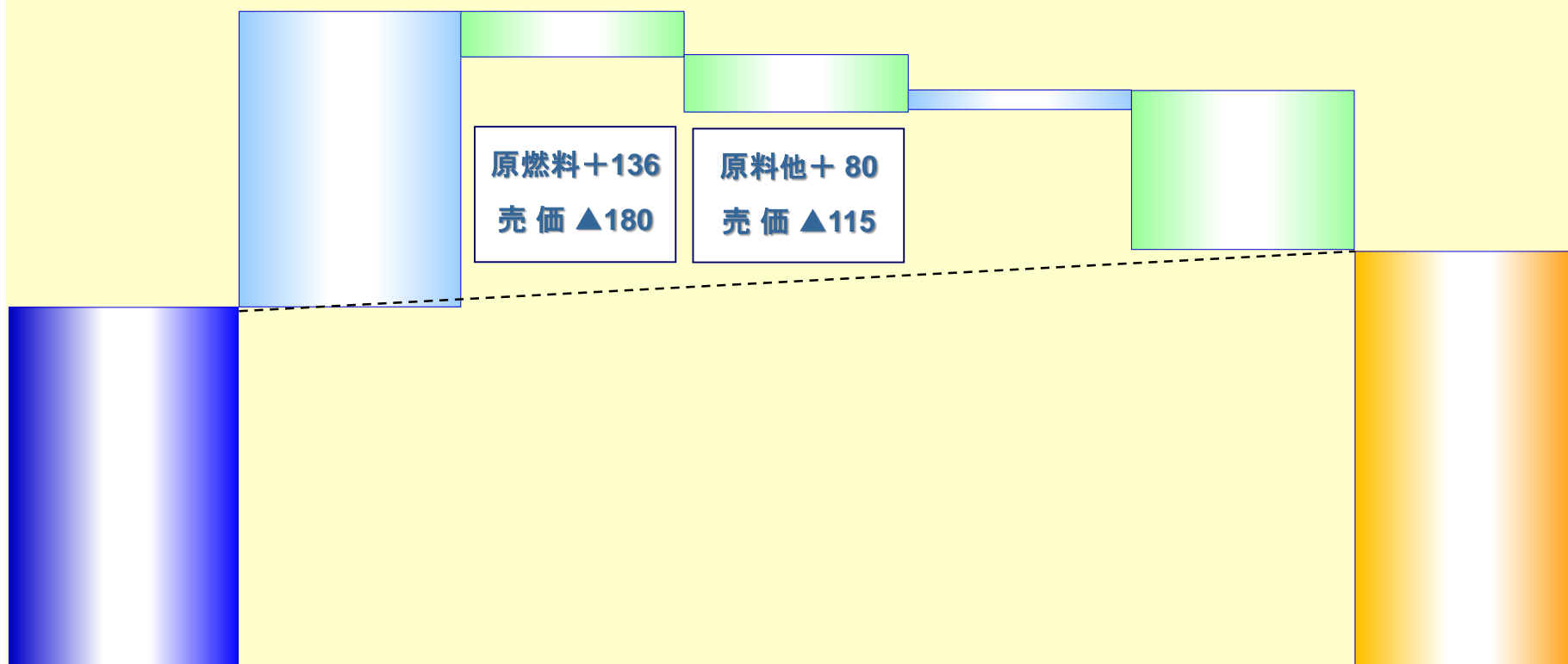
営業利益 310 (+ 4)

- ① 数量要因 : CR、電材、環境製品増 (+202)
- ② スプレッド(縮小) : 原燃料 +136 < 売価 ▲180 (▲ 44)
- ③ 為替影響(円高) : 原料他 + 80 < 売価 ▲115 (▲ 35)
- ④ コスト要因 : 電力・ユーティリティ負担減 (+ 13)
: SM定修年 (▲ 10)
- ⑤ 先行投資負担等 : 海外展開(含米国CR工場固定費)、
研究開発他 (▲ 122)

Denka 2. 2016年度業績予想 ③ 前年比(増減要因)

単位: 億円

2015実績	数量要因	スプレッド	為替影響	コスト要因	先行投資負担等	2016予想
306	+ 202	▲ 44	▲ 35	+ 3	▲ 122	310



Denka 2. 2016年度 業績予想 ④前年比(セグメント別)

単位:億円

売 上 高	2016年度 今回予想	2015年度 実績	増 減	販 売 価 格 差	数 量 差	
エラストマー・機能樹脂	1,500	1,556	▲ 56	▲ 219	163	
インフラ・ソーシャルソリューション	550	491	59	-	59	
電子・先端フロンタックツ	500	457	43	▲ 50	93	
生活・環境フロンタックツ	800	794	6	▲ 30	36	
そ の 他	400	401	▲ 1	-	▲ 1	
合 計	3,750	3,699	51	▲ 299	351	
営 業 利 益	2016年度 今回予想	2015年度 実績	増 減	販 売 価 格 差	数 量 差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	90	110	▲ 20	▲ 219	103	96
インフラ・ソーシャルソリューション	30	9	21	-	11	11
電子・先端フロンタックツ	70	61	9	▲ 50	56	3
生活・環境フロンタックツ	110	115	▲ 5	▲ 30	34	▲ 9
そ の 他 / 消 去 差	10	12	▲ 2	-	▲ 2	-
合 計	310	306	4	▲ 299	202	101

Denka 2. 2016年度業績予想 ⑤ 四半期別予想(参考・概算)

単位:億円

営業利益							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年度
2016年度予想	35	85	120	115	75	190	310
2015年度実績	59	87	146	87	73	160	306

Denka 3. 経営計画「Denka100」 数値目標と新成長戦略

数値目標

連結営業利益	600 億円 以上
営業利益率	10% 以上
海外売上高比率	50% 以上

新成長戦略

- ① 生産体制の最適化
- ② 徹底したコストの総点検
- ③ 新たな成長ドライバーへの資源集中と次世代製品開発

Denka 3. 経営計画「Denka100」 健康関連事業

「健康関連事業」

「健康関連事業拡大戦略の概要」

Denka 4. 株主還元方針及び成長に向けた投資財源

1. 株主還元方針

総還元性向 **50%** を基準

※ 総還元性向 = (配当 + 自己株式取得) ÷ 連結当期純利益

2. 還元方法

①配 当 : 配当性向 **最低30%** + 安定配当

②自己株式取得 : 株価水準・市場環境等に応じ **機動的に実施**

3. 成長に向けたM&Aなどの戦略投資財源

株主還元後内部留保 + キャッシュフロー

→ **500億円規模** (2014年～2017年 4年間)

4. 期 間

経営計画「DENKA100」(目標年度2017年)に向けた4年間

良好な財務バランスを維持しつつ株主還元ならびに戦略投資を最大化

→ 早期に **ROE10%以上** を目指す

Denka 4. 株主還元方針及び成長に向けた投資財源

株主還元・投資関連数値の推移

		2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 予想
当期純利益	(億円)	113	136	190	195	205
1株当り配当	(円/株)	10.0	10.0	※ 12.5	13.0	14.0
配当額	(億円)	47	47	57	58	62
配当性向		42 %	34 %	30 %	30 %	30 %
自己株取得	(億円)	19	30	37	38	
総還元額	(億円)	66	77	94	96	
総還元性向		60 %	56 %	50 %	50 %	50 %
減価償却額	(億円)	216	223	230	232	240
設備投資・投融資額	(億円)	284	278	260	380	280
ROE		6.4 %	7.4 %	9.6 %	9.3 %	

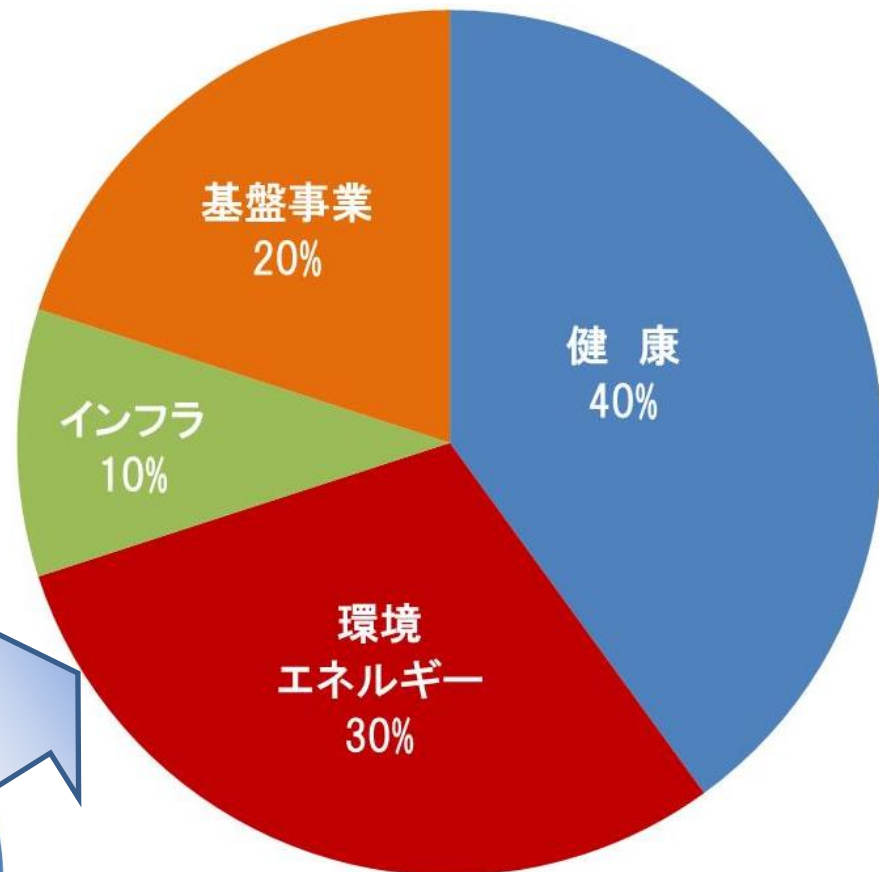
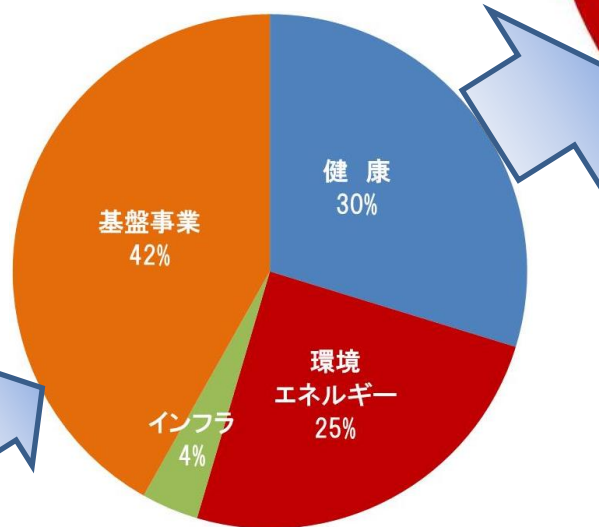
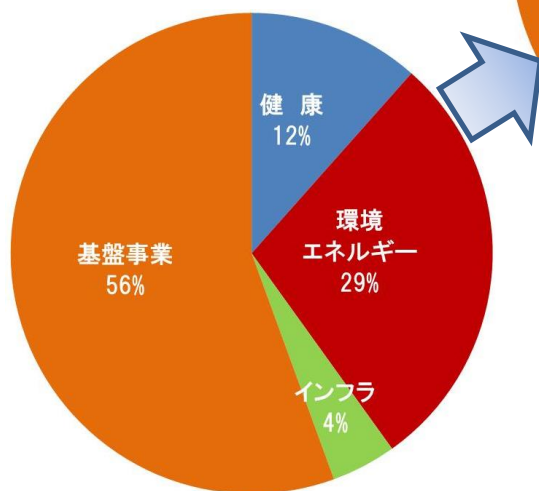
※ 普通配当 10.5 円・記念配当 2.0 円

事業ポートフォリオ改革

健康関連事業を
当社の主力事業へ

2015年
営業利益306億円

2007年
営業利益299億円



Denka100目標
営業利益600億円

デンカの健康関連事業の強み

ワクチン

細菌検査試薬

ウイルス検査試薬

生化学検査試薬

免疫血清試薬

ヒアルロン酸

POCT

技術とリソースの蓄積

細菌・ウイルス ライブラリ

学術研究者とのネットワーク

抗原抗体反応の制御技術

モノクローナル抗体産生技術

細菌・ウイルスの培養技術

細菌・ウイルスの精製技術

1950 '60 '70 '80 '90 2000 '10

事業拡大の方向性

外部との協業
M&A

現在の事業領域

ワクチン事業

→ 皮内投与ワクチン

検査試薬事業

→ POCT海外展開
熱帯感染症検査など

ヒアルロン酸事業

→ 適用拡大など

既存領域の展開

固有技術の強化

KEW
Icon
G47Δ・・・

領域拡大の キーワード

- がん領域
- 遺伝子検査
- 健診

ライフ
イノベーション
研究所の開設

新規事業の展開

新規ワクチン開発
(Icon/植物培養による
タンパク質発現技術)

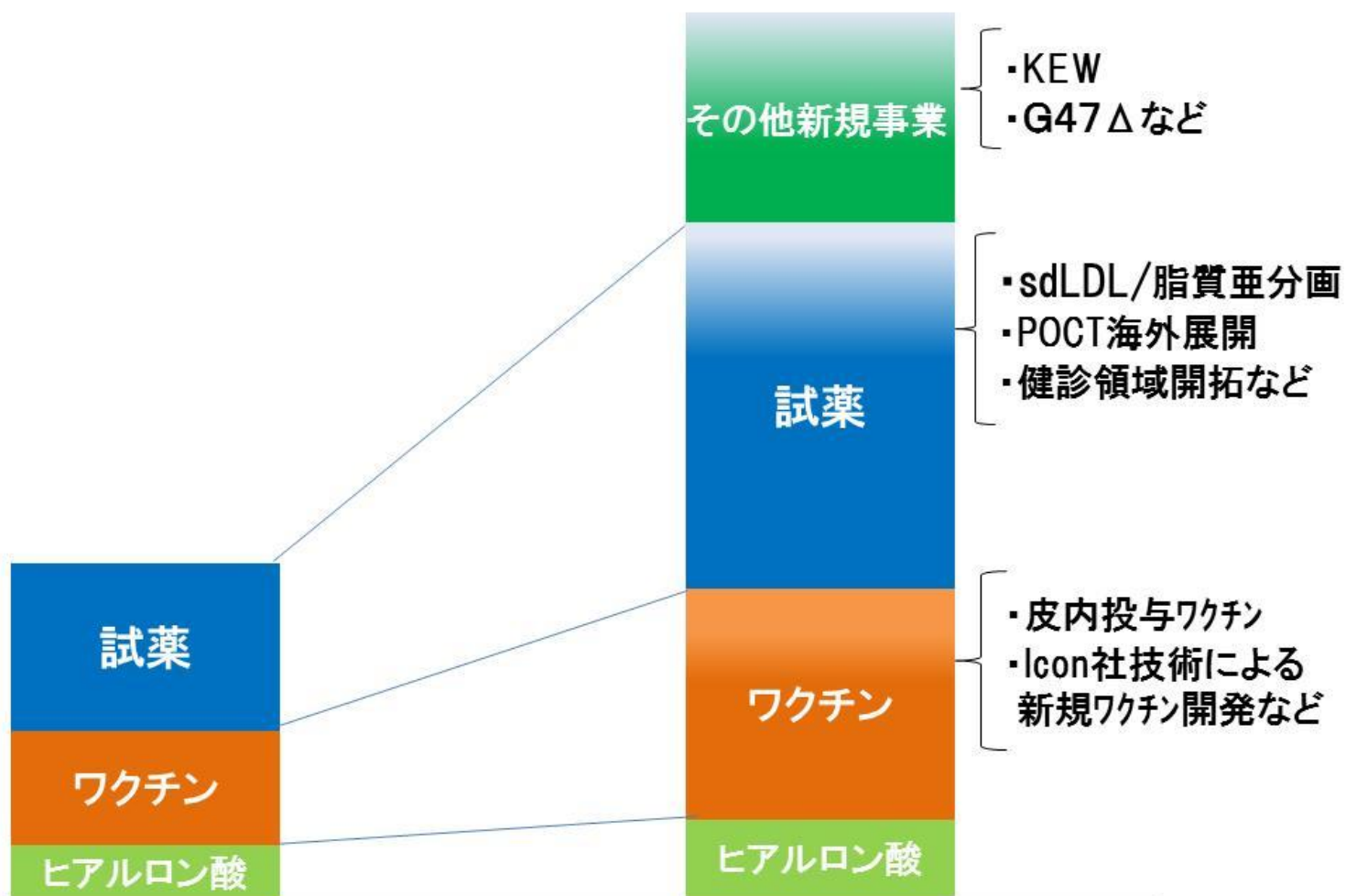
脂質亜分画試薬
(健診領域)

G47Δ 開発
(がん治療薬)

がん治療情報提供
サービス事業
(KEW/遺伝子変異解析技術)

ピロリ菌等検査試薬
(がん等検診領域)

健康関連事業成長の内訳



現況

Denka100目標

業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。